



すてい~る

目次

●特集 平成18年「賀詞交換会」

●平成18年「賀詞交換会」開催	1
●支部賀詞交換会	6
●突然おじゃま 田中秀一 青山特殊鋼(株)宇都宮営業所所長	9
●私の愉しみ 山洞貴正 山洞金物店 代表取締役	11
●委員会報告	13
●事務局だより・編集後記	14



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号 (鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail zentoku3@ba2.so-net.ne.jp

(社)全日本特殊鋼流通協会 平成18年『賀詞交換会』開催



法人化10周年の今年、更なる発展に向けて

社団法人全日本特殊鋼流通協会では、1月24日(火)東京・グランドヒル市ヶ谷『瑠璃の間』に於いて、平成18年の賀詞交換会を開催しました。

仕幸専務理事の司会で午後6時より始まり、まずは三上聰彦会長の挨拶。続いて、ご来賓の皆様を代表して経済産業省製造産業局鉄鋼課長 安藤久佳様より来賓祝辞をいただきました。

さらに今回は、功労者表彰として、全日本アームレスリング選手権で優勝し、世界大会でも7位に入った(株)メタルワン特殊鋼の恩庄宏治氏に賞状と記念品が贈呈され、おそらくは競技の表彰式とはまた違った雰囲気にながらも、スポーツマンらしいさわやかな笑顔を見せる恩庄氏に盛大な拍手が送られました。

続いて、社団法人特殊鋼倶楽部副会長 近藤俊雄様より乾杯のご発声をいただき、その後はしばし歓談の時間に。ここ数年来続いている特殊鋼業界の好景気を反映して、どの参加者の皆様も笑顔、笑顔。そこかしこで談笑の花が咲きました。

最後に竹内東京支部長の中締めでお開きとなりましたが、今年もまた新年の門出に相応しい、活気にあふれた賀詞交換会となりました。



全特協会長「年頭のあいさつ」

経済発展の向上に寄与するという自負を持ち、さらなる飛翔を

(社)全日本特殊鋼流通協会

三上 聡彦 会長



皆様新年明けましておめでとうございます。

会員、賛助会員の皆様、また、ご来賓として公務大変お忙しい中、経済産業省鉄鋼課長安藤様はじめ鉄鋼課の皆様、社団法人特殊鋼倶楽部副会長近藤様はじめ業界団体の皆様、報道関係の皆様、多数のご臨席を賜り大変賑やかに平成18年賀詞交換会をここに開催することができ有難く、厚く御礼申し上げます。開催に際しまして一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、株価の回復、設備投資の増加、一般消費の上昇等をはじめ経済指標の好転が認められ本格的な景気回復の兆しが見えてまいりました。

その様な背景の中、特殊鋼業界では自動車、建設機械、産業機械関連等の旺盛な需要に支えられ、メーカー各社は過去に例を見ないほどの好業績を挙げられています。特殊鋼熱間圧延鋼材生産高では輸出の減少を国内向け増加でカバーし、暦年で2,030万トンに迫る勢いにあります。また私たち流通にとりましても、材料の確保に奔走するという忙しい年でありました。また夏以降工具鋼のサーチャージ制についてお客様に理解を頂くべく努力して参りました。流通におきましても種々苦労はありましたが利益を伴った良い年でありました。

今年は中国の鉄鋼の需給ギャップが心配されますが、特殊鋼の需要動向は濃淡、温度差はあるものの引き続き高水準で推移するものと思われます。ものづくりの基盤をなす金型の材料として、ま

た重要保安用部品として使用されることの多い特殊鋼素材には安全と信頼が問われます。我々流通に携わる者と致しましてその特性を理解の上、流通機能を充分発揮し経済発展の向上に寄与するという自負を持って参りたいと思えます。

今期末で中期3カ年計画の仕上げとなりますが、会員各位のご協力によりほぼ計画通り達成することができました。人材育成事業では特殊鋼販売技士、加工技士の有資格者13,000名を目標として挙げましたが、昨年12月で13,111名と達成することができました。また、内外交流事業では前年に引き続き中国(今回は華南地区)に46名の参加を得て特殊鋼流通事情研修視察を行いました。今回は30代の実務者クラスの参加者が多く、若手の方々にとりまして視野を広げる良い機会づくりになりました。

本年は、当協会が法人化になって10年を迎えます。6月の総会と併せ10周年の記念事業を東京で実施すべく計画しております。10年という節目を迎える記念すべき年に相応しい行事にしたいと

考えております。つきましては皆様方から何分のご援助を賜りたく、ご賛同のほどよろしく願い申し上げます。次なる10年に向け飛翔する年にする為、まず、安定的な財務の強化と時代に対応した事業を進めるべく新たな中期計画を模索していく年にしたいと考えております。

ここで皆様にご報告がございます。

当協会の会員であります株式会社メタルワン特殊鋼九州支店 恩庄宏治さんが過日行われました全日本アムスリング選手権の90キロ級で見事優勝され、日本代表選手として世界選手権大会に出場されて世界の強豪を相手に7位に入られました。後ほスポーツ功労賞として表彰させていただきますが、多忙な業務の中で、日々研鑽を積まれたご努力と輝かしい栄誉は我々会員にも明るい話題と勇気を与えてくれました。心からおめでとうを申し上げます。

最後に各社のご隆盛とご参会の皆様方のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



(社)全日本特殊鋼流通協会 賀詞交換会

平成18年1月24日(火) グランドヒル市ヶ谷

ご来賓祝辞

経済産業省製造産業局 鉄鋼課長 安藤 久佳 様

適正な収益を上げられる構造を、状況の良い今こそ築いてほしい



新しい年をお迎えいたしまして、早くも20日以上過ぎたわけですが、賀詞交換会ということでございますので、皆様おめでとうございます。

この会が始まる前、会長をはじめ副会長の皆様方、あるいは各地の代表の皆様方に、それぞれ、現在の状況や、全特協が抱えている問題と取り組みについて、いろいろ教えていただきましたが、状況は大変よろしいようで、日本における特殊鋼の流通事業を支える大変重要な役割を果たしておられます皆様方にとりましてにとりまして昨年は大変素晴らしい年になったかと思ひますし、新しい良い年の始まりだと捉えております。

今年一年どうなるかということについては、このまま行きますと好景気はたぶん続くのではないかというふうに期待をさせていただいております。その中で、皆様方が負っておられる使命という

のはますます重要になるわけでございます。

使命のひとつは、昨年来いろいろ問題になっております、ある種の偽装問題に代表されますような、安全、安心、信頼といった課題でしょう。今年一年を通じて、特殊鋼だけでなく素材をめぐる大きな課題になるのではないかと考えております。改めて申し上げるまでもありませんが、安全、安心、信頼を築いていくためには大変時間がかかりますけれども、それが崩れるのは簡単でございます。これまで築いて来られました、安全、安心、信頼というものをさらに発揮していただく一年になっていただきたいと考えております。

もうひとつは、皆さんが担っておられる特殊鋼の製品は、日本の競争力にとりまして大変重要な素材であるということでございます。適正な収益をこれからも上げていただくような構造というものを、ぜひ、状況の良い中においてこそ築いていただきたいと思ひます。かけがえない特殊鋼です。作って、加工して、しっかりと流通させていただき、しっかりと最終ユーザー様の元に届けていただくという、こうした機能は大変重要だと思っておりますので、メーカー、流通それぞれが共存共栄の元で、しっかりとした未来に向けての前向きな活動をおこなっていただければ、そうした収益構造を

景気のいい状況の中においてこそ築いていただきたい。毛頭、個々のご商売の実態は私どもが申し上げる立場ではございませんけれども、私どもとしても、こういう思いをさせていただいております。

それと今、会長からお話がありましたけれども、全特協さん大変素晴らしい人材育成事業を長年やって来られて、私どもも大変高く評価させていただいております。大変失礼な言い方ではありますが、業界の団体というものはどうしても存在することに意義があるというだけになってしまいがちなところ、全特協さんはしっかりと実業を持ち、大変立派な人材育成事業をやって来られたというふうに思っております。

今ご紹介がありました、10周年を契機とした財務基盤の強化ということにつきましても、私どもも陰ながら皆様方にぜひお願いをさせていただきまして、全特協さんの財務基盤を、もう一段しっかりとしたものにしていただきたい、そういうふうに考えさせていただいております。

以上をもちまして大変簡単でございますけれども、新年の冒頭にあたりまして、私ども、全特協さん、ならびに本日お集まりの皆様方が、さらに素晴らしい一年になりますことをお祈りいたしまして、挨拶に変えさせていただきます。ありがとうございました。

功労者表彰

(株)メタルワン特殊鋼九州支店 恩庄 宏治 様

アームレスリング全国優勝を称え、スポーツ功労賞を授与

全日本アームレスリング選手権90キロ級での優勝、ならびにアームレスリング世界選手権大会出場の栄誉を称え、(株)メタルワン特殊鋼九州支店 恩庄宏治様に、スポーツ功労賞が贈られました。

おめでとうございます。



乾杯あいさつ

(社)特殊鋼倶楽部 副会長 近藤 俊雄 様

この10周年を、より一層の発展に向けた年に



本日は特殊鋼倶楽部の副会長として、小沢会長の代理を務めさせていただきます。

皆様方、大変晴れやかなお顔で新年を向かえられまして、まことに御同慶の至りというふうに思います。このことは、積年の地道な努力の成果ということですが、それとともに、やはりいろいろ

な良い条件が重なったということも否定できないと思うのであります。従いまして、今年がそのまま昨年同様の良い成果を挙げられるという保障は必ずしもないというふうに、私どもメーカーも、自戒を含めまして思っておるところでございます。もちろん特殊鋼の需要といたしましては、主要なユーザー様の世界的な展開といったこともありまして、高いレベルの需要が続くと確信をいたしております。しかしながら、魅力のあるマーケットにはまた多くのプレーヤーが登場するということが世の習いでございます。

今年年初の特殊鋼倶楽部の賀詞交換会の席で、小沢会長が「ドイツ語では、特殊鋼のことをエーデルシュタルというんだよ」というご挨拶をなさいました。私も四十数年前に買いましたドイツ語の古い辞書を引っ張り出して見て、確かに

『エーデルシュタル＝特殊鋼』というふうにハッキリ書いてあるわけでございます。いささか面映いところがあるわけでございますが、大変良い言葉であるというふうに書かれてある。私どもの商品もビジネスも、こういった「エーデル」という言葉に相応しいと言いますか、恥ずかしくない、そういったものにしていかなければならないというふうに思うわけでございます。

この一年は別格の年でございますので、会員様が一層の発展に向けた年にしたい、というふうに思っております。

それでは乾杯したいと思います。ご唱和お願いいたします。今年一年間、皆様方のご健康、それから私どものビジネスがよい成果を挙げますようお願いしまして、乾杯をしたいと思います。乾杯



順風満帆の時ほど次の非常時に備える心掛けを



新年明けましておめでとうございます。

謹んで初春のお慶びを申し上げますと共に、年頭に当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、成功裡に終わった愛・地球博の活況、株価の安定、女子プロゴルフ界のアイドル宮里藍選手たち女子アスリートの活躍と明るい話題が沢山ありましたが、一方、アメリカ南部を襲ったハリケーンに代表される自然災害など環境保全をないがしろにしてきた人類への自然界からの警鐘ともいえる事象が続きました。また、民族間や国と国との諍いも絶えることがありませんでした。

国内でも、相次ぐ凶悪犯罪が横行し、昨秋には、無責任な企業経営者達が建物の構造計算の数値をごまかして劣悪な建物を建設し、大きな社会問題にまで発展しました。この様な環境の中で、我々を取り巻く特殊鋼業界は、自動車、建機、産機など活気のある業界に支えられて、長年にわたって、忍従を強いら

れてきた特殊鋼メーカーさんが生産量2,000万トンを超えるという高操業・好業績を挙げられ、流通の我々もその恩恵に浴し、会員企業の皆さんも久し振りに明るい年を迎えられたのではないのでしょうか。

日頃は、メーカー、商社、会員の皆様には、当協会及び東京支部の運営につきまして、ご支援、ご助言を頂き誠にありがとうございます。お陰様で今年は法人格を取得して、10年の節目の年を迎えることができました。この記念すべき年に全特協としては、創立10年記念事業を計画しております。先の運営委員会並びに理事会で承認を頂きまして、開催地は東京に決まりました。東京支部としては中心となって、全面的にご協力することになりますので、東京支部の委員の方には、いろいろとご協力やご苦労をおかけしますが、何卒よろしくお願い致します。

日取りは 6月 6日(火)。会場は、昨秋、紀宮様が華燭の典をあげられ慶祝ムードの余韻が残っている帝国ホテルで、全特協が10年前に産声をあげたのも同じ会場になります。当日は、記念講演会を企画しております。現在、6名ほど候補者をリストアップしまして交渉中です。是非、数多くの会員の皆様にご参加して頂きますようお願い致します。

東京支部としては、昨年、新発足しました『はがねの日』のイベントを本年も引き続き開催すると共に、各種研修制度を

更に活発化するべく、会員会社のみならず、他団体や他業種にも呼び掛けて参りたいと考えております。また、会員の皆様にお役に立ち、喜んで参加して頂けるような講演会や見学会も企画して参ります。

本年は、特殊鋼を取り巻く環境も昨年に引き続いてフォローの風が吹いてくれそうです。順風満帆の時ほど次の非常時に備える心掛けも大切だと思います。自然と人生との法則を説く古来中国の『易経』の中で『治にいて乱を忘れるな』と言っています。順調な時ほど次なる不調の時のことを考えて備えを怠るなと戒めているのかも知れません。

これは雑誌の受け売りになりますが、将棋の羽生善治四冠の言葉に、三流の人は人の話しを聞かない、二流は人の話しを聞くだけ、一流になると人の話しを聞いて実行する。超一流は更にそれを工夫してやると書いてありました。私は、なるほどと思いました。頂点を極めた人の言う事は違います。

全特協も一流の団体を目指して頑張っていきたいと思っております。それには、会員の皆様が個々の会社の業績を向上させるのは当然の事ながら、お客様や仲間、異業種の人達の考え方や話を良く聞いて、切磋琢磨、研鑽の実を上げていけば、全特協のレベルアップにも繋がるし、入っていて良かったという評価が得られるのではないのでしょうか、お互いに一流を目指して今年も頑張らしましょう。



各支部でも賀詞交換会

東京支部

新年賀詞交換会

開催日時：平成18年1月24日(火) 18:00～20:00
開催場所：グランドヒル市ヶ谷
参加者数：480名
内 容：協会との合同開催



大阪支部

三団体恒例新春賀詞交換会

1月5日 800名の参加をえて、大阪特殊鋼三団体合同の「新年賀詞交換会」が盛大に行なはれた。

大阪ステンレス協会がホスト役となって、司会に副理事長(朝日ステンレス(株)代表取締役吉澤邦嗣)がつとめ、理事長(豫洲短板産業(株)代表取締役森 清市)が三団体を代表して挨拶に立ち、「～国内マーケット維持していくためにも、われわれ流通は私利私欲を少しでも押さえ、業界全体のことを考えることが大切だ」と語った。

来賓の挨拶として、初めて近畿経済産業局から産業部長の上村良次氏が立ち、大阪府から商工労働部地域産業課・榊田文雄課長の挨拶された。各々表現の違いがあるが、「地域経済の発展についての抱負」について語られた。

続いて、特殊鋼倶楽部大阪支部・支部長・藪木清(山陽特殊製鋼(株)取締役大阪支店長)が乾杯の音頭をとり、全員で元気に乾杯をし新年賀詞交換パーティーに移った。

今回も、中締めもなく徐々に流れ解散方式で盛会裏に散会した。



▲来賓あいさつ
近畿経済産業局産業部長：上村良次氏



▲来賓あいさつ
大阪府商工労働部地域産業課長：榊田文雄氏



▲乾杯のあいさつ
山陽特殊製鋼(株)
藪木取締役大阪支店長



▲スナップ写真
800名の参加で大いに盛り上がった賀詞交換会となった。

名古屋支部

三団体共催賀詞交換会

1月10日(火)18時から名古屋観光ホテルに約390名を集めて、全特協名古屋支部、名古屋ステンレス流通協会、特殊鋼倶楽部名古屋支部の特殊鋼三団体共催による平成18年賀詞交換会を開催した。

主催者を代表して、今年の幹事団体である名古屋ステンレス流通協会の理事長であるリントツ(株)の林会長があいさつ。

つづいて来賓を代表して、中部経済産業局の杉山益美課長補佐が祝辞を述べられたあと全日本特殊鋼流通協会名古屋支部の田島支部長の乾杯により和やかなうちに参加者の賀詞交換が始まった。

最後は特殊鋼倶楽部名古屋支部の久保支部長の音頭で盛会のうちに中締めとなった。



▲来賓あいさつ
中部経済産業局：杉山課長補佐



▲乾杯のあいさつ
全特協名古屋支部：田島支部長

東北支部

東北支部賀詞交換会

開催日時：平成18年2月12日(日)

開催場所：仙台国際ホテル

参加者数：61名

小林支部長は「信頼と満足の提供に協力して欲しい。」とあいさつし、協会から参加された三上会長と藤田総務委員会委員長を紹介した。

三上会長は「次なる発展のための足固めの年」とあいさつされ、さらに6月6日の協会創立10周年記念事業の開催を報告された。

来賓として、安田大同特殊鋼(株)営業部長様、岡田日立金属工具鋼(株)統括部長様からごあいさつをいただいた。

乾杯の音頭は初参加の藤田総務委員会委員長が行い、中締めを羽賀(株)アマダカッティング東日本地区本部長様をお願いした。

例年よりも多い参加者が集いにぎやかな賀詞交換会となった。



▲東北支部 小林支部長あいさつ



北関東支部

北関東支部賀詞交換会

開催日時：平成18年2月12日(日)

開催場所：伊香保温泉「ホテル小暮」

参加者数：25名

賀詞交換会は、田中秀一青山特殊鋼(株)宇都宮営業所長の司会ではじまり、協会から三上会長のご参加を得て、盛大な会となった。

宮内支部長は挨拶の中で、「支部会員の結束のもと、地域間の調和を計り、共存共栄を目標にしよう」と訴えた。

三上会長は、「治に居て乱を忘れず」と冷静な対応を強調され、来る6月6日の全特協の定時総会と創立10周年記念事業への参加を依頼された。

交換会に引き続き、市況懇談会となり、岡部日立金属特殊鋼カンパニー副部長と、佐藤愛知製鋼室長から近況報告をお聞きした。



▲北関東支部 宮内支部長あいさつ
(提供：(株)特殊鋼産業新聞社)



▲静岡支部 賀詞交換会に出席した三上会長あいさつ
(提供：(株)特殊鋼産業新聞社)



▲北関東支部 賀詞交換会スナッフ
(提供：(株)特殊鋼産業新聞社)



▲鈴木副支部長、宮内支部長、三上会長
(提供：(株)特殊鋼産業新聞社)

静岡支部

静岡支部「賀詞交換会」

開催日時：平成18年2月13日(月)

開催場所：静岡グランドホテル中島屋

参加者数：24名

賀詞交換会に先立ち「しずぎんホールユーフォニア」で講演会を開催した。

講師：元三重県知事：現早稲田大学大学院教授・北川正恭氏

三重県知事を二期務められたことから地方分権の話、マニュエクトを初期から提唱された話、カオス理論から「北京の蝶々が飛ぶと、ニューヨークにハリケーンが来る。」等の話題に富み、「ぜひ皆様の意識改革で蝶々を飛ばして、日本を変えてゆきましょう。」と結びの言葉で地方の活性化を促しました。

賀詞交換会は場所を静岡グランドホテル中島屋に移し、賛助会員等6名を加え総勢24名のにぎやかな交換会となりました。

原静岡支部長の挨拶には、3年ぶりに特殊鋼販売技士3級の講座開講が発表され各会員の参加が促されました。

来賓あいさつは、日立金属(株)加太静岡営業所長と、大同特殊鋼(株)佐々木氏で、メーカーの業績の好調と業界の好況がうかがわれました。

乾杯の音頭は、山浦(株)サンコー社長の発声により、なごやかに歓談の宴がつづき、三上ノボル鋼鉄(株)静岡支店長の一本締めでおひらきとなりました。



▲静岡支部 原支部長あいさつ
(提供：(株)特殊鋼産業新聞社)



▲静岡支部 賀詞交換会スナップ写真
(提供：(株)特殊鋼産業新聞社)

九州支部

九州支部「賀詞交換会」

開催日時：平成18年1月6日(金)

開催場所：全日空ホテル

参加者数：202名

九州ステンレス流通協会との共催で、全特協の会員・賛助会員65名が参加し盛大な会となった。

会場では、全特協・九州支部会員：メタルワン特殊鋼(株)九州支店・恩庄宏治係長が平成17年10月に茨城県で開催された「第23回JAWA全日本アームレスリング選手権大会」の90kg級で優勝し、12月東京で開催された「第27回WAF世界アームスリング選手権大会」に日本代表として出場し7位と検討されたことを報告した。



突然おじゃま



青山特殊鋼(株) 宇都宮営業所 所長 / 田中秀一

青山特殊鋼(株) 宇都宮営業所は、JR宇都宮駅と東武宇都宮駅のほぼ中間。すなわち、オフィスビルや店舗、住居が密集した市街地の真ん中にある。近所に工場や倉庫は見当たらない。事務所しかないのだ。かつては宇都宮営業所にも自前の工場と倉庫があった。しかし、時代の変化に合わせて大胆に業務を見直した結果、今の形になったのだという。今回は、ここ至る経緯とそのメリットを中心に、宇都宮営業所所長の田中秀一氏にお話をうかがった。

企業をスリム化しつつ、レスポンスの良さは失わない工夫

■アウトソーシングの活用で営業に専念

青山特殊鋼の歴史は、大正3年(1914年)に神戸で創業された青山商店(株)に始まる。昭和31年10月に青山特殊鋼(株)となり、東京に本社を移転。その後、大阪支店、静岡支店をはじめ、営業所、事業所を順次開設し、ほぼ全国を網羅するに至っている。

宇都宮営業所が開設されたのは昭和44年10月。富士重工(スバル)の航空宇宙カンパニーが宇都宮にあることからこの地が選ばれた。現在でも富士重工との取引が大きな柱であることは変わらない。

現在の所在地は宇都宮市中河原だが、開設当時、その所在地は宇都宮市街からやや離れた宇都宮市野沢町にあり、事務所だけでなく工場と倉庫も完

備するオーソドックスな形を取っていた。現在は営業所長をつとめる田中秀一氏が青山特殊鋼に入社したのはこの野沢町時代。営業所開設当時こそ東京本社からの転勤者で占められていたが、地元根ざした企業をとの方針により、その後は現地採用に切り替えられる。田中氏もそうした現地採用の一人であり、現在宇都宮営業所に所属している社員は全員、現地採用による人材となっている。

しかし、鉄鋼関連の、特に地方における需要はここ10年来減少の一途。なぜなら国内の量産工場の多くが賃金の安い東南アジアにシフトしてしまったためだ。富士重工航空宇宙カンパニーはまだまだ健在とはいえ、それだけでは経営が成り立たない。このままではい

れ採算割れとなること必至。そのため、業務携帯の再構築が急務となった。そこで提案されたのが、工場および倉庫のアウトソーシングである。言うまでもなくハガネには熱処理工程が不可欠。だが本来不可欠であるはずの工場とその設備すらも手放すという大決断だった。

しかし、危機感を持っていたのは青山特殊鋼だけではなかった。青山特殊鋼は本来ライバルである同業他社2社に加え、メーカーである日立金属と手を組み、合弁会社YSSを設立。熱処理設備をはじめとするすべての設備をYSSに移管する一方、倉庫は同じ野沢町内にある興新特殊鋼(株)に売却。さらに営業所自体も、交通の便の良い現住所に移転した。



こうしてスリム化には成功した宇都宮営業所だったが、問題はお客様とのお取引。計画的に納品されることの多い首都圏や大工業地帯と違い、地方になればなるほど即納を求められる急ぎのオーダーが多くなる。そのため、全くの在庫なしでは宇都宮ではやっていけないし、また、存在意義そのものが問われることにもなる。と言うのも、宇都宮は上野駅から新幹線やまびこ号でわずか約55分の距離。いまや十分に東京の商圏となっており、即納に対応できないようであれば、東京本社から営業マンを出張させる方がコストがかからないからである。

そのため、一旦は売却した倉庫のうちその約26%にあたる100坪を興新特殊鋼から改めて借り受け、即納に対応するべく約60トンの鋼材をストックしている。また、ストックされていない鋼材や、大量の受注については、千葉県にある青山特殊鋼浦安センターから大型トラックで陸送されてくる。青山営業所が工場と倉庫を手放すことができたのは、この浦安センターや東京本社とのスピーディーな関係プレーがあってこそといえるだろう。

■大雨の中、花見で一杯

ところで宇都宮営業所の陣容はと言うと、男性社員が田中所長も含めて3名、女性が3名の計6名。全員が宇都宮での現地採用で、まさに青山特殊鋼一筋の栄え抜きスタッフといえる。ただし、男性は全員が50歳以上。一方の女性陣は比較的年齢層が若く、仕事以外の接点はあまりない。営業所内での同好会のようなものもなく、ちょっと寂しいかなという気がしないでもない。

しかし、田中所長がまだ若く、技術工も含めて多くの社員がいた時代は同僚と遊ぶことも忘れなかった。

今から約20年前、当時の宇都宮営業所は桜の花見に八幡山公園へくり出すのが毎年の恒例となっていたが、ある年、予定していた日が土砂降りの大雨となってしまった。しかしここでめげないのが青山特殊鋼宇都宮営業所の面々。大雨にもかかわらず、男性社員のみで当初の予定通り花見を敢行。当然、いつもは人であふれている花見の名所も、その日ばかりは貸切状態。これに気を

良くしていつも以上に大いに盛り上がったのだが、その様子が写真付きで新聞で紹介されてしまい、ちょっとした武勇伝になってしまったというエピソードが残っている。もうパワフルとしか言いようがない。

■大量受注への期待高まる

さて、今後の宇都宮営業所だが、たいへん明るい話題がある。ここ数年、鉄鋼業界の業績が全般的に上向していることに加え、宇都宮ならではの好材料があるためだ。というのは、切替え時期に入った自衛隊の大型哨戒機と輸送機の生産を富士重工が受注し、宇都宮の航空宇宙カンパニーで生産することになったからである。現在は試作機製造のための鋼材をコンスタントに納入しているに過ぎないが、約2年後には量産

が開始されるため大量の受注が期待される。

「2年後が楽しみです」

と、田中所長の表情も明るい。

中河原に移転して5月で丸3年。工場を持たない営業所でありながら、いや、むしろ営業専門部隊であるがゆえに、きめの細かい営業力を武器に、ユーザーとメーカーのパイプ役として、宇都宮で確実に存在感を示している。



私の愉しみ

山洞金物店 代表取締役／山洞貴正



インターネット通販の草分け的存在 サーチエンジン1位GETを目標に

■まずは成果をご覧あれ

今回、素敵な趣味をご披露していただいたのは、群馬県桐生市の山洞金物店代表取締役、山洞貴正氏。インターネットにつながったパソコンがある方は、<http://www.venus.dti.ne.jp/~sando/>にアクセスして見ていただきたい。山洞金物店のホームページが表示されるはず。あるいはYAHOO! JAPANやGoogleといった検索サイトで『山洞金物店』と検索してもすぐに見つかる。これが今回ご紹介する山洞氏の趣味、すなわちホームページ制作なのです。

おそらく、「私だってホームページは作れるよ」という人は多いでしょう。ましてや、山洞金物店のホームページはテキスト(文章)が中心で、おおよそデザインのかげから見当たらない。「私のホームページの方がよっぽどデキがいい」とお思いの方もいらっしゃるはず。しかし、このホームページのすごさは実は別のところにあるのです。何がスゴイかというところ……。

今度は検索サイト(YAHOO!)

JAPAN、Google、Gooなど)で、特殊鋼に関わる人ならほとんどの方がご存知の鋼材『SKS3』で検索して見ていただきたい。なんと、山洞金物店のSKS3解説ページが一番に検索されるのです。YAHOO! JAPANで検索される「SKS3」に関するホームページ数は19,300。Googleでは24,400。その中からトップに表示されるのは奇跡のような確率だが、何度検索してもやっぱり山洞金物店のページが一番に表示される。これは決して偶然や奇跡ではないのです。

他にも『SK3』『SUJ2』『NAK55』といったメジャーな鋼材を検索してみると、いずれも、メーカーをはじめとする他の並み居る会社を押しつけて、山洞金物店のページが一番か、そうでなくても必ず上位に顔を出す。なぜそんなことができるのか、それは、山洞氏がSEO(Search Engine Optimization=サーチエンジン最適化)を熟知しているからなのです。

■理解すらしてもらえなかった黎明期

山洞氏がインターネットに興味を持ち始めたのは、Windows95が登場して間もない頃。当時から、インターネットの前身とも言えるパソコン通信を愉しんでいた山洞氏はそういった方面の情報に敏感で、いち早くインターネットとホームページの面白さ、素晴らしさに気づいていた。しかし、Windows95が使用でき、インターネットが手軽に楽しめる性能をもったパソコンは、その当時は安いものでも定価30万円はする高額商品。そうそう簡単にポケットマネーで購入できるものではない。

そこで山洞氏は、全特協北関東支部の会合で、皆にホームページを作らないかと薦めることに。しかし、山洞氏の話は全く相手にもされない。というより、誰も理解できなかったのです。当時、インターネットやホームページはごく一部のマニアの遊び場でしかなく、一般人にとっては未知の世界。ホームページという言葉すら一般的でなかった当時あって、自分でホームページを作るという発想が全く理解されなかったのも無理からぬことでした。

そんなわけで、しばらくは興味がありながらも何もできずにいた山洞氏でしたが、翌年の1996年9月、ついに新型のパソコン「富士通デスクパワーSE」を購



入。さっそく世界中のホームページを見ると同時に、「ウチの在庫をインターネットで表示したい」と考えたのです。お客様にとって、設計してもらった際の参考になれば、というのが目的でした。12月の棚卸しが終わって在庫が確定するや、山洞氏はさっそくホームページ制作にとりかかる。使ったソフトは、最初からパソコンに入っていたWORDとExcel。このソフトはホームページ制作機能もあり、当時はこれで作っていた人も多かったのです。

さて、念願のホームページ制作にとりかかった山洞氏ですが、これが意外とうまくいかない。在庫をどう整理して、どう見せればわかりやすくパソコン画面に表示できるのか？ 自社の紹介も載せたいがどう書けばいいのか？ さらに、ホームページの作り方や、ホームページとして登録して公開するまでの段取りも試行錯誤の連続でした。当時は資料となる雑誌や専門書もまだ少なかったのです。

そうして、忘れもしない1997年7月25日、ようやく「山洞金物店」のホームページがオープン。当時は大企業でもホームページをもっていない会社もあった時代。ホームページの数も今より圧倒的に少なかったこともあり、YAHOO! JAPANがさっそく山洞金物店を取り上げて、無料でディレクトリ(ホームページを紹介するための区分)に入れてもらったのですが、今ではこれはまず考えられないこと。先駆者のメリットといえるでしょう。

■趣味の域を超え、本格的なネット通販へ

すると、ほどなくして問い合わせがきたのです。小口ながら、鋼材を売ってほしいという。その後もしばしば、見ず知らずのお客様から問い合わせが舞いこんだ。こうして、山洞金物店のホームページは当初の山洞氏の思惑を超えて、鋼材のインターネット通販という「実益」を生むことになったのです。

しかしながら、インターネットの通販は相手の顔が見えないため不安がある。山洞氏は通販にあたり、身元を確認するため会員制とし、代金も先払い。クレームについても、この範囲は受け付けるがそれ以外は受け付けない、とい



ったガイドラインを独自に制定し、これらすべてに納得していただけるお客様のみ販売することに決めたのです。

山洞氏は、これで客は減るだろうと思いましたが、通販希望者は減るどころか着実に増え続け、個人のみならず、ある時は東証一部上場の企業から引き合いが来たことも。

■SEOに目覚める

このように、まさに趣味と実益を兼ねたホームページ制作でしたが、ふと気が付くと2003年ぐらいから検索サイトで鋼材名を検索しても自分のホームページが上位に来なくなっている。そこで、YAHOO! JAPANだけでなくインフォシークにも登録しようとしたところ、「不適切なページです」と言われてしまったのです。

今まで問題なく表示されていたはずなのになぜ？

そこで、この頃にはかなり安価になっていたホームページ制作ソフトを購入して自分のページを調べたところ、「タグ」と呼ばれるインターネットを表示するための指示が、1ページにつき10カ所ほども正しくないことが発覚。そもそもWORDやExcelはホームページ制作専用ソフトではない上に、更新を繰り返しているうちに微妙におかしくなっていたのでしょう。さっそく修正です。

しかし、ミスを修正しても検索サイトで上位に表示されない。オープンした1997年当時とは比べ物にならないほどのホームページが乱立しており、その中に埋もれてしまったのです。その時、山

洞氏の負けず嫌い魂がムクムクと首をもたげました。検索サイトというのは、何らかの条件によって各ホームページを順位付け、表示する順位を決めている。決して、大企業だから上位に来るというわけではないのです。その条件は公表されていないものの、順位が上のページを研究し、自分のページと比較することでおのずと傾向が分析される。

「まずは、大手メーカーのページを抜きたかったんですよ」

と山洞氏。企業規模においては桁違いに大きなメーカーが相手であっても、ホームページの世界でなら対等。むしろ、聡明期からインターネットに慣れ親しんできた山洞氏に一日の長がある。間もなく山洞氏は試行錯誤の末、いくつものキーワードで検索1位を勝ち取っていく。するとそれだけアクセスも増え、さらに通販の申し込みも増加。今では、山洞金物店のホームページが常に上位にランクされることを利用して、他社のスポンサーをも受け入れており、通販だけでなくスポンサー料収入も加わった。

しかし、山洞氏の心の中ではどうやら実益は二の次で、「検索サイトにおいてより多くのキーワードで1位を取る」というのが今でも最大の目的。大手を打ち負かして自分のページが1位を取ることが快感だと語る。1位をGETし続けるため、山洞氏は今夜もホームページを更新し続けています。

注) 検索順位、および検索件数などは、2006年3月3日現在のものです。

委員会報告

第38回運営委員会

日時：1/24 於：グランドヒル市ヶ谷

出席者：19名

- 内容：1. 平成18年度事業計画と予算について
2. 支部報告
3. 委員会報告
4. 第10回定時総会と10周年記念事業について

内外交流委員会「中国（南部）特殊鋼流通事情視察研修（本団）」の実施

日時：11/23～11/27 広州—佛山—順徳—東莞—シンセン—香港—マカオ

参加者：46名

- 内容：中国のデトロイトと言われている華南地区の特殊鋼流通業者2社を含めてバネメーカー、金型メーカー等5社を訪問した。訪問先各社で熱烈歓迎を受け、交流・協力をを行うことが出来た。

第6回経済産業省鉄鋼課との連絡会

日時：1/24 於：グランドヒル市ヶ谷

出席者：22名（経済産業省鉄鋼課・安藤課長、小泉課長補佐、佐野流通係長を含む。）

- 内容：1. 各支部の現況と市況説明
2. 特殊鋼需要動向と内外の諸情勢について（安藤課長）

第13回青年部会正副部会長会議

日時：10/21 於：東京・鉄鋼会館

出席者：11名

- 内容：1. ホームページ青年部会メンバーズルームの活用について
2. 「特殊鋼ワールド・リーフレット」の配布について
3. 青年部会新入会員について
4. 工場見学会の実施について

第28回総務委員会

日時：10/18 於：鉄鋼会館

出席者：11名

- 内容：1. 平成17年度上期事業報告・収支決算について
2. 会員の入・退会について
3. 収支改善計画について
4. 平成18年度予算策定に関する件
5. 第10回定時総会と10周年記念事業について
6. 会員名簿の発行について
7. 平成18年賀詞交換会等について

第14回青年部会正副部会長会議

日時：2/9 於：東京・鉄鋼会館

出席者：11名

- 内容：1. 平成18年度事業計画（案）、収支予算（案）について
2. 第8回運営委員会の開催について
3. 第6回定時総会の開催について

①「法律無料相談窓口」の開設について（経営効率化委員会）

平成17年4月1日から、飯田法律事務所と法律顧問契約を結び、会員企業の皆様を対象に「法律無料相談窓口」を開設致しました。会員の皆様が経営上の法律相談や、契約締結等に関する助言をご希望の場合に無料で対応させていただきます。

・ご相談先：飯田法律事務所 Tel 03-3666-3838

飯田法律事務所には、弁護士の先生が多数いらっしゃいますので、いつでもご相談ください。

電話でのご相談は無料です。

- ・御相談の流れ：①全特協「法律無料相談窓口」を利用したい旨お伝え下さい。
②「全特協の所属支部名と会社名」をお伝え下さい。
③相談内容を簡単にまとめてお伝え下さい。
④その後、弁護士の先生と直接具体的な相談を始めてください。

・ご相談内容は守秘義務がありますので協会には一切報告されません。

・詳細については協会事務局までお電話下さい。ご説明いたします。

（協会事務局：03-3669-2777 担当・渡辺）

② JISハンドブック及び定期刊行物購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」及び定期刊行物の購入斡旋をひきつづき20%引きで実施中です。ご希望の方は協会事務局までご一報下さい。

（TEL 03-3669-5803 担当・茂木）

③ 共通通い箱「おかよちゃん」

（ご指定倉庫車上渡し、請求書到着後振込み）

鉄網製（大）@9,000円

鉄網製（中）@7,100円

鉄網製（小）@4,200円

注文用紙は、協会事務局にございますので御連絡下さい。

（TEL 03-3669-2777 担当・渡辺）

編集後記

今回は平成18年賀詞交換会特集号を発刊させて頂きました。各支部で開催されました賀詞交換会では、特殊鋼の復権到来と勇ましく、大変喜ばしい限りです。

お互いに業界人として充実した経営を基本として、これからの展開をしっかりと、見極めて、社業に努めてまいりましょう。

6月には創立10周年記念総会を予定しております。

みなんでお祝いしたいと思います。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／竹内誠二

